

## 富士山・宝永山偵察登山（山スキー）

【山域】 富士山・宝永山

【日時と天気】 2019年12月24日（月）晴れ上部は曇り

【メンバー】 菊池単独

【行程】

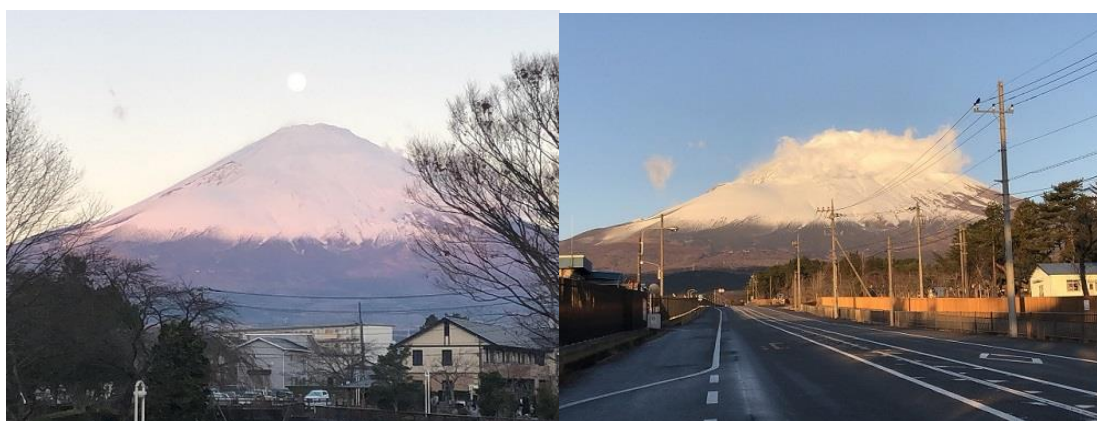
千葉ー御殿場 ICー太郎坊駐車（1190m）7：40ー御殿場登山口ー宝永山下部 2150mー滑走（標高差約 100m）ー往路を下山ー13：30 駐車場ー帰葉



・当初蔵王の刈田岳にチーム福島の計画に参加予定であったが、積雪不足などのため遠征することを中止、そこで富士山5合目以下の偵察山スキーを思い立った。前週の週末には直前に降雪があり、かなり下部まで真っ白になったが、その後気温が高い日が多く、降雪もなく21日のライブ



カメラではこんな状況でした。冬型の気圧配置で低温予想、風は標高 2000m 以下ではそれほど強くない山岳天気予報、果たして滑走できるか???であったが、景色を楽しむだけでも気分は良いであろうと思い 4 時半過ぎわが家を出発、足柄 SA で朝食休憩、こんな素晴らしいショットをゲットでき、これだけで今回は満足と自分に言い聞かせた。カシミールの地図と 21 日のライブカメラの雪の状況を見比べて標高 2000m 以上位では滑走可能であろうと判断、前日の低気圧で多少の降雪を期待したが気温が高かったせいか殆ど降雪がなかったようだ。冬型で午後から気温が急速に低下する予想で、早いスタートが良いが、モルゲンロートの写真をゲットしたく、それに合わせたタイムスケジュールとなった。早くも雲が湧いてきている。

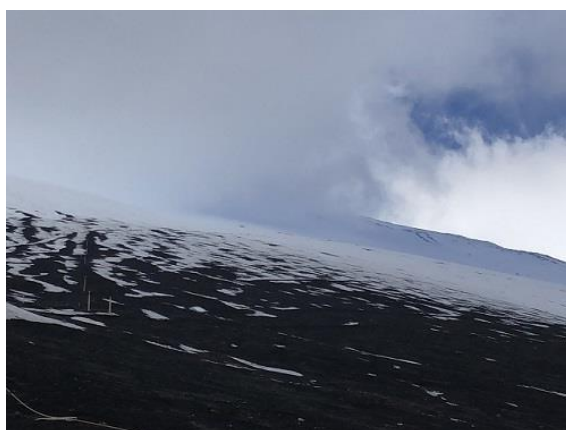


- ・太郎坊の御殿場登山口駐車への道は閉鎖されていた。駐車スペースには先行車が 4 台、小生は最後の到着でありした。スキー板をザックにつけてテレ靴で 7:45 スタートした。極めて寡雪であった前回の 2016 年 3/20 の時は AT 仕様であった。冬枯れの広葉樹林の中を進み、御殿場登山口駐車場を右手に砂礫の堆積したエリアに到着、雪が見えてきたが少ない!! 果たして滑走できるのか???



板を付けた重荷を担ぎ、黙々と雪を求めて火山砂礫の中を進む、左の二つ塚には殆ど雪は残っていない。斜面が急になり雪が出てくるあたりで 10 本爪アイゼンを装着、トラ

バースしながら高度を上げると徐々に雪のエリアが多くなっていく。やや冷たい風が吹いてきて気温が低下傾向にあるがまだ雪面はそれほど固くない。視界がやや不良となってきたが、少しでも滑走できるラインを偵察しながら高度を上げた。砂礫でごま塩を振りかけたような雪面でも何とか滑れそう。次第に滑走可能な広い斜面になってくるが雪面が固くなってきている



・2150m 程でこれ以上標高を上げることは危険と考え滑走開始地点とした。それほど斜度は急ではないがアイゼンを外して板を履くのは緊張を強いられた。雪がついてない砂礫の上で板を装着、滑り出しは既にガリガリになっていた。もちろんテレターンなどやれない。横滑りとアルペンターンでゆっくり下った。すぐに狭いごま塩地帯、雪のない狭い所は板を外さず歩いたりしながら、何とか標高差 100m 程は滑走でき、板を担ぎ上げた理由が成立した。今回は前回より 100m 程標高を上げられました。南岸低気圧によるたっぷりの降雪後(モナカが心配)か残雪が豊富に時期に再訪してみたい。滑走が終了しほっとし、撮影しながら下った。宝永山まで登った単独者が下ってきており談笑。先週も来たが道路は雪タイヤが必要でかなり下まで雪があったとのこと。1 週間でかなり雪が消えてしまったようだ。駐車場で小生のテレマークに興味を示しナイスエッジを紹介した。



今回は満足な滑走は出来なかったが、素晴らしいショットが、数枚撮影でき、これだけ

でも大満足であった。陽が射して暖かい中、クッションの効いた一直線の砂走りを下って行きます。二つ塚方面はこんな感じで雪は殆どありません。山中湖はこんな感じですよ。標高 1190m の太郎坊から標高差 960m、結構疲れてきました。



・富士山で初スキーをやったエゴン・フォン・クラッセルのことが記された看板が登山口にあるが、ここに来ると毎回見ている。このエリアは昔、太郎坊スキー場として賑わったようだ。以前数回お会いした静岡県在住の方は、富士山しか山スキーには来ないと話しており、それほど惚れ込んでいたようだ。小生も体力低下しきており、富士山の五合目以下を四季を通して楽しみたいと考えている。駐車場の中を通り、ピンクのテープに導かれて比較的明瞭な踏み跡を辿って行き沢地形を通過すると直ぐ駐車スペースに到着できた。登りもこのルートがよさそうである。



余韻に浸りながら広葉樹の中を進むと細いブナに似た樹肌の木が多く見られた。まさにブナでした。ネット <http://fujisan.umin.jp/fujifagus/index.htm> で調べてみると富士山南斜面の 1000m~1600m にはブナが優占種となっていると記されていた。富士山山麓にはいろいろ興味深いことがありますね！！

・最後にこの報告を読んでもくださった方へのプレゼントの写真を掲載します。2009年10月10日宝永火口の上部2850mまで登った際に宝永山山頂に寄った際の写真を披露します。迫力のワンショットです。今期の残雪期に再訪し、ここから滑走することを夢見ています。(目論んでいます。)

小生の車ナンバーは3776、11月の御坂黒岳、雁ヶ腹摺山と来る1/3の高川山と富士山を眺望しながらのハイクが続き、今回を皮切りに富士山麓のスキーを使ったスノーハイク(山スキー)を、愛車を駆り立てて継続させていきたいと考えています。



・富士山麓・5合目以下には種々の魅力が満載されているようです。積雪期だけではなく四季を通して富士山麓研究を追求していこうかなあ！！？？？と考えている、間もなく古希を迎える、どうしようもない山キチおやじです。皆さんをお誘いしますのでよろしく。